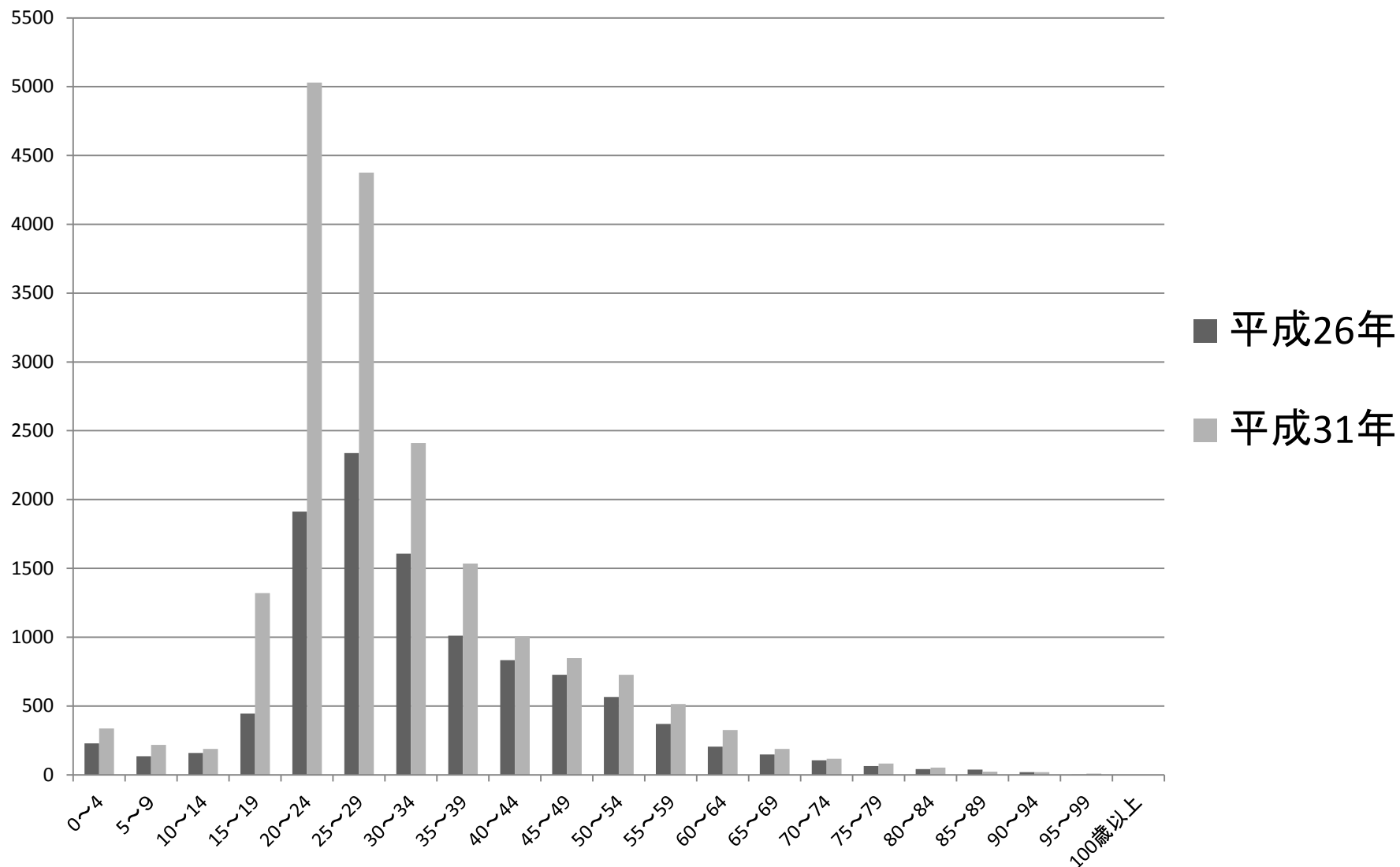


中野区の現状に関する参考資料
(令和元年5月31日 追加資料)

外国人年齢別人口の推移（5歳階級別）



各年1月1日住民基本台帳人口より

身体障害者手帳年齢階層別所持者数

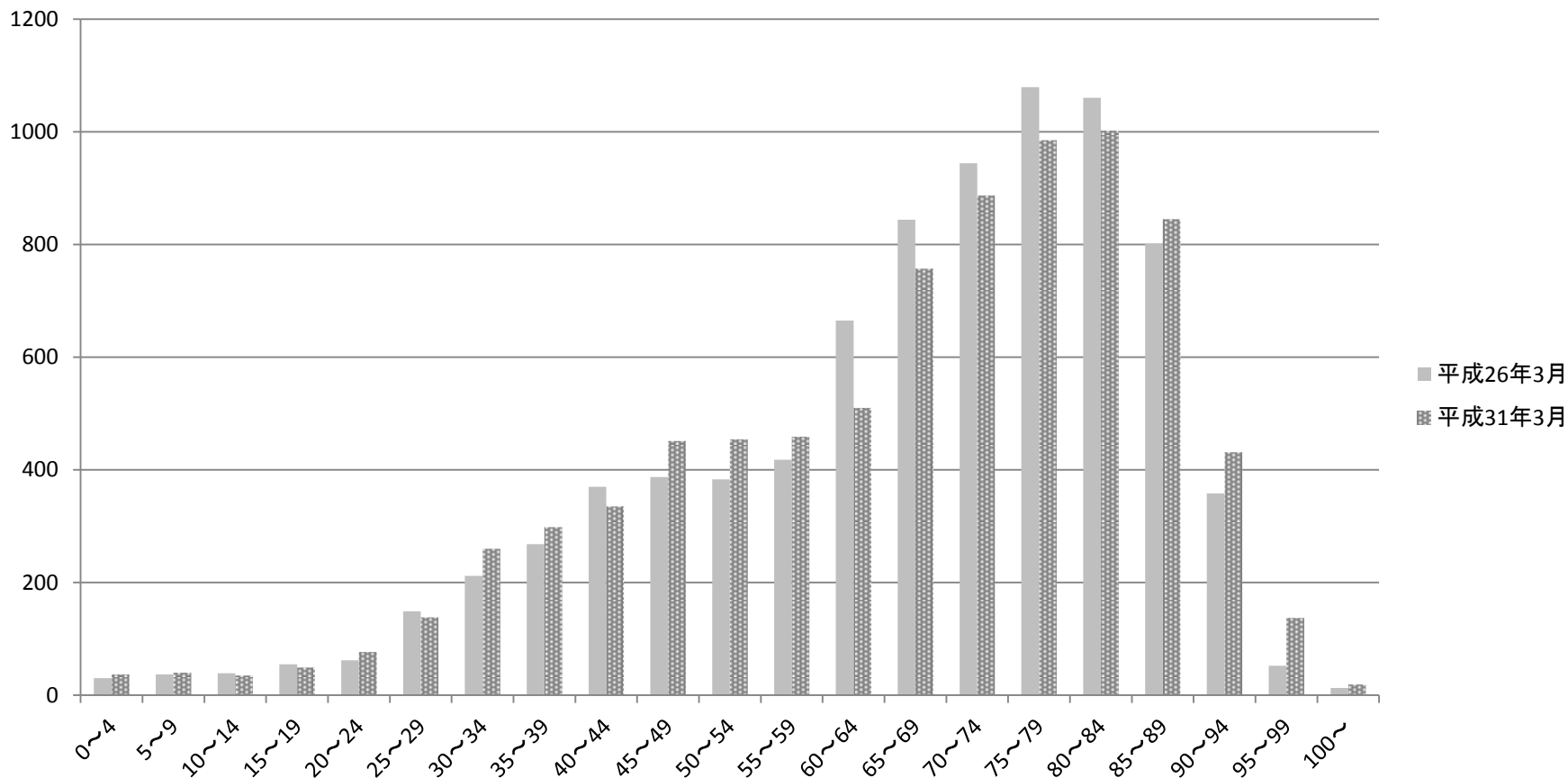
平成26年3月

手帳所持者数8,226人

平成31年3月

手帳所持者数8,206人 平均年齢:66.3歳

身体障害者手帳年齢階層別所持者数



愛の手帳（知的障害者）年齢階層別所持者数

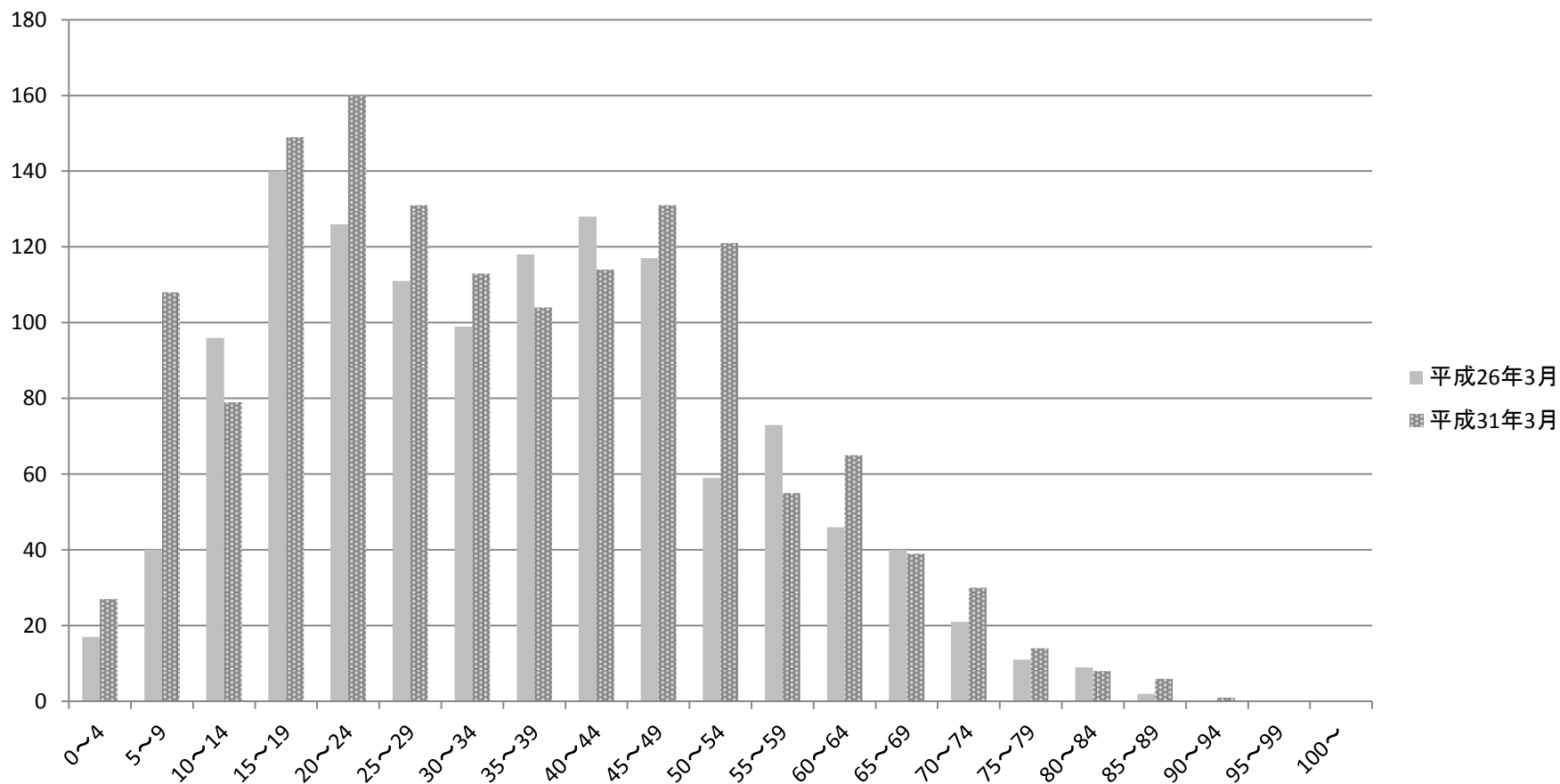
平成26年3月

手帳所持者数1,253人

平成31年3月

手帳所持者数1,455人 平均年齢：34.6歳

愛の手帳（知的障害者）年齢階層別所持者数



精神障害者保健福祉手帳年齢階層別所持者数

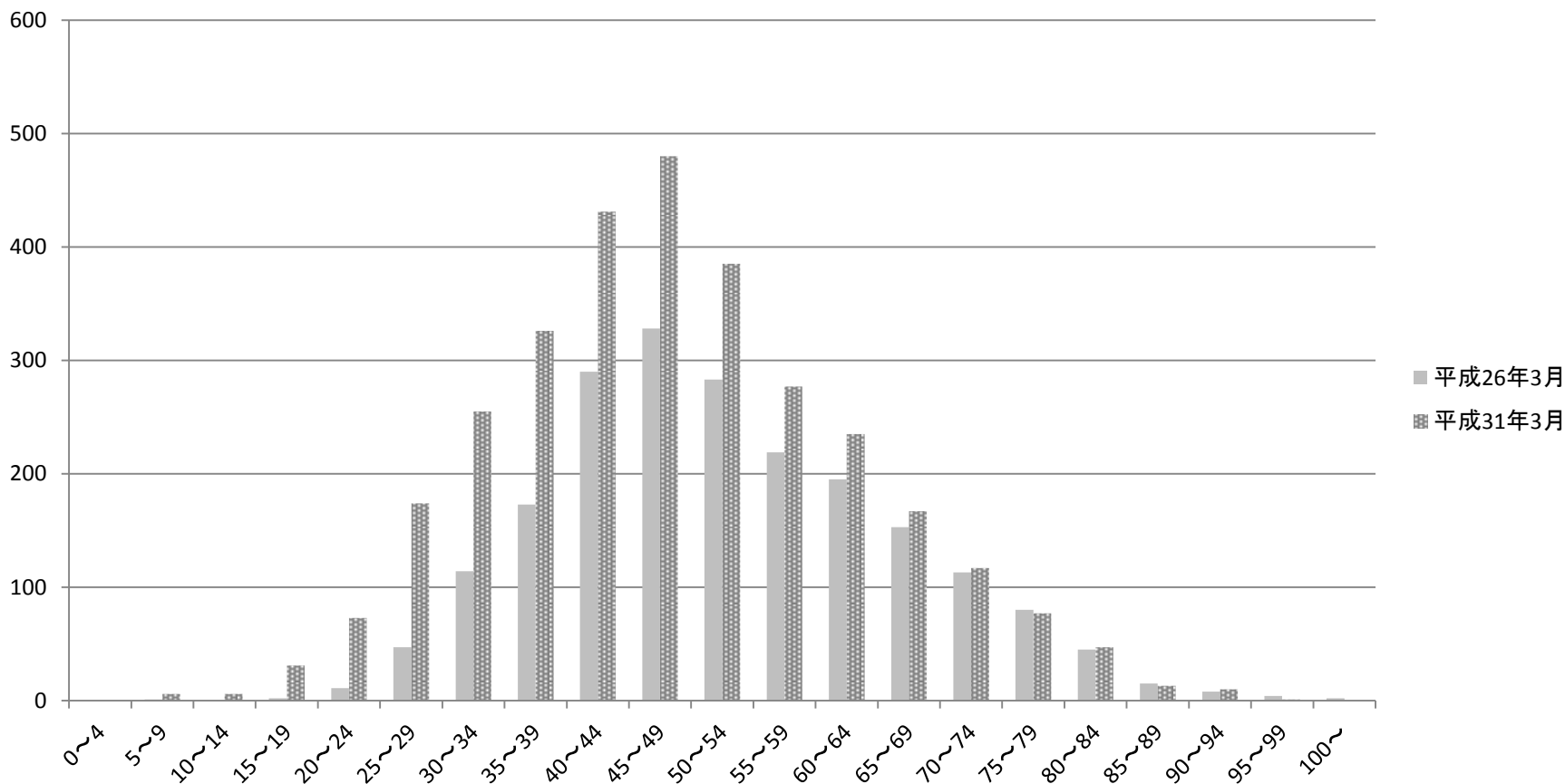
平成26年3月

手帳所持者数2,083人

平成31年3月

手帳所持者数3,111人 平均年齢:54.5歳

精神障害者保健福祉手帳年齢階層別所持者数



中野区の地域包括ケア体制図

中野区

地域支えあい推進室

都市政策推進室

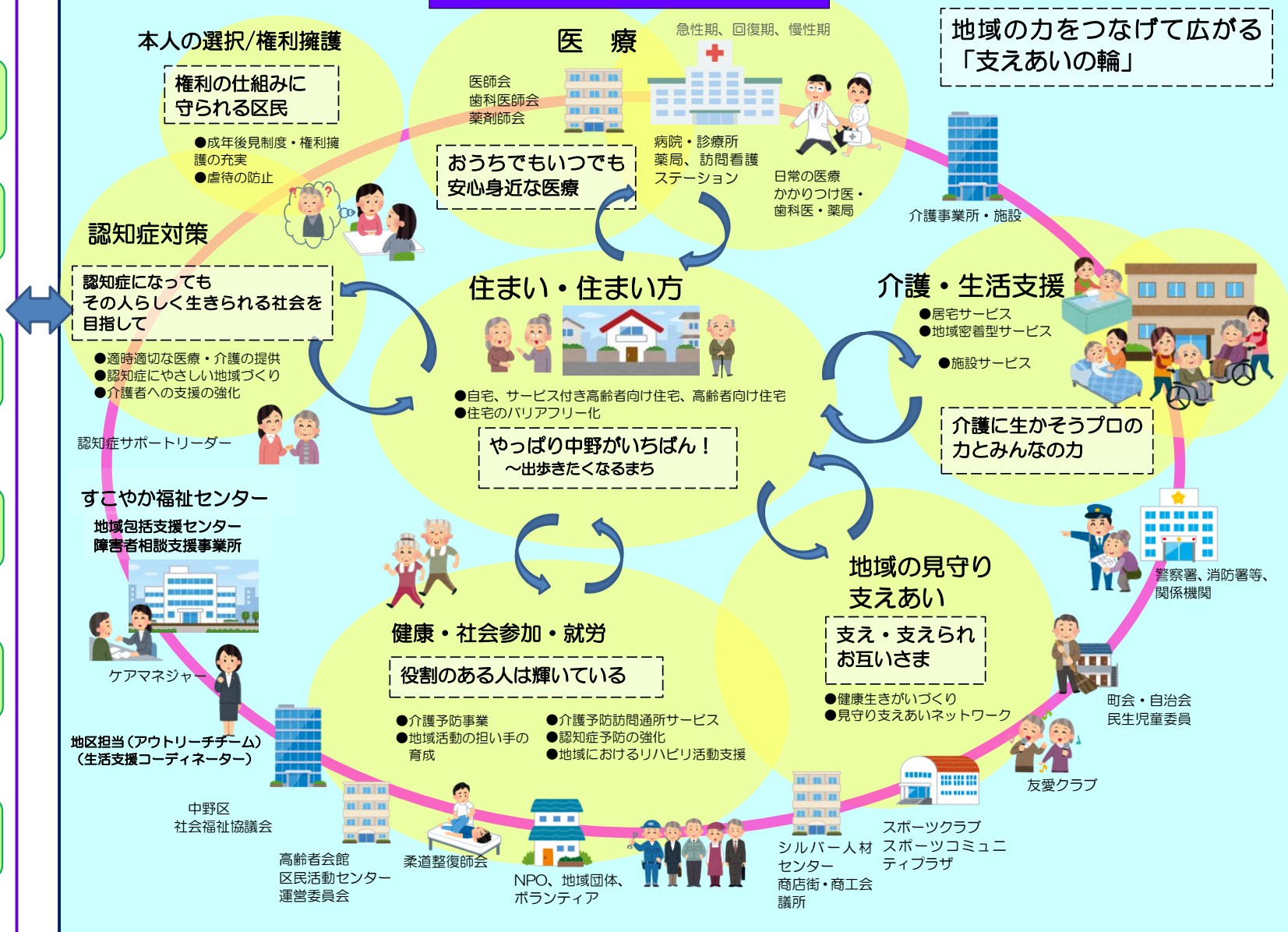
区民サービス管理部

健康福祉部

都市基盤部

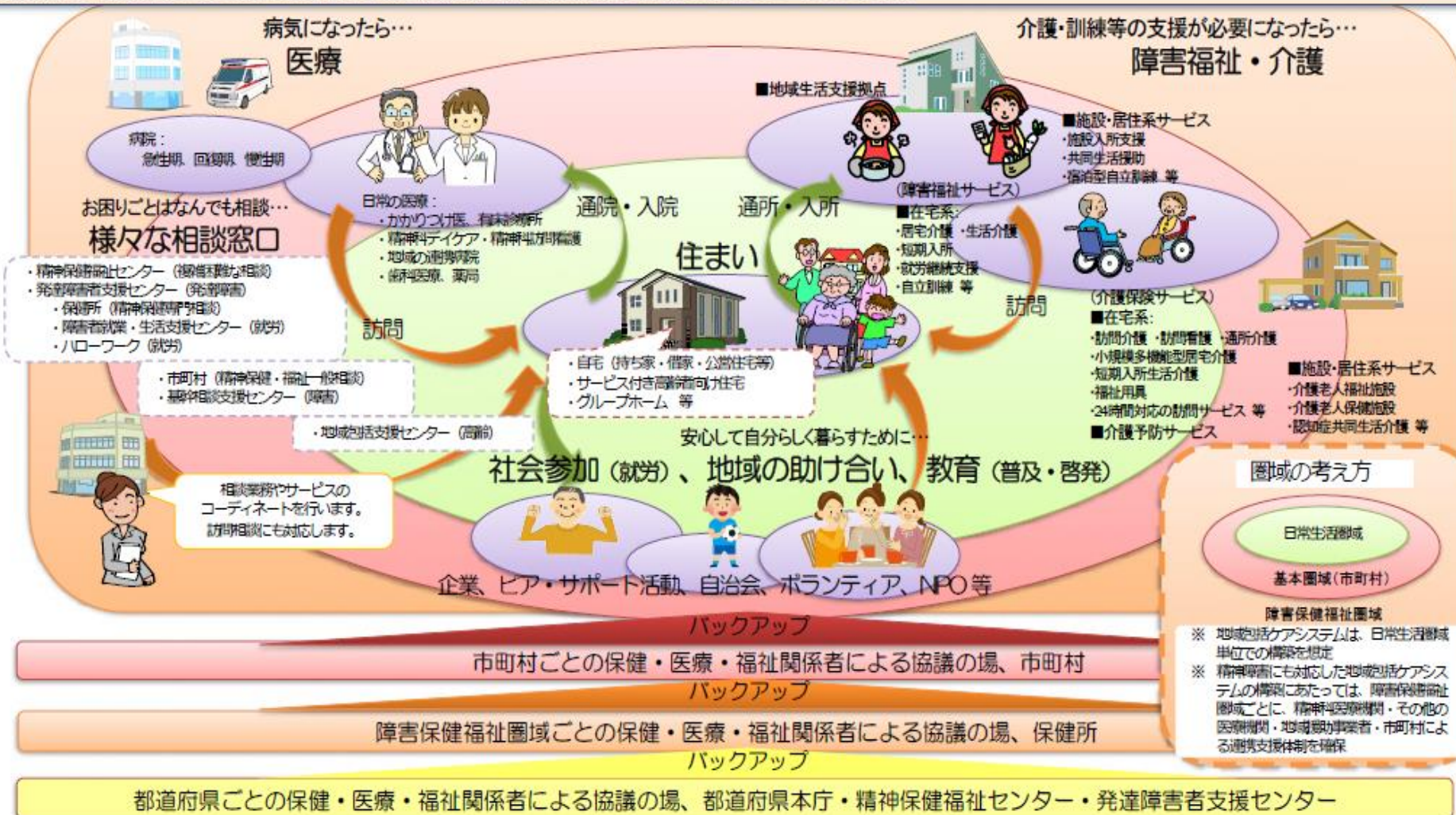
関係各部

四つの生活圏域（中部・北部・南部・鷲宮）



精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

- 精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムの構築を目指す必要がある。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、市町村などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。



厚生労働省社会保障審議会障害者部会（第90回 H30.6.27）

『「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築～各自治体における精神障害に係る福祉計画の実現のための具体的な取組～』より